

## あさひが丘

新型コロナウイルス

## 団地内でワクチン接種を

あさひが丘連合自治会長 尾田豊機

あさひが丘連合自治会員の皆様には、益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。

新年度に入り新型コロナウイルスの変異株の感染者が急激に増加し、広島県では感染状況が最も深刻な「ステージ4」(爆発的感染拡大)へ上げられ、5月31日まで緊急事態宣言地域として指定され、更に6月20日まで延長されました。

あさひが丘連合自治会の行事(4ページ「行事予定表」参照)の内、6月6日のクリーンキャンペーンは、新型コロナウイルス感染予防のため「門前清掃の日」に変更しました。

また感染防止対策として日浦学区集会所、あさひが丘自治会館は休館とし、あさひが丘近隣公園は、団体での競技、練習などは使用禁止としています。

第64号  
令和3年7月発行  
連合自治会広報部

今年度も昨年度に続き、行事はもとより会議すら開催できないことが予想されます。住民の皆様には、この感染症は、誰もが感染し得る強力なものであることを強く認識して行動してください。さるようお願い申し上げます。

感染対策として、一日も早い新型コロナウイルスワクチンの接種が叫ばれています。ワクチン集団接種場所として、安佐北区では高陽地区の真亀公民館、可部地区の安佐市民病院の2カ所が指定されています。あさひが丘団地内の医療機関では個別接種に対応ができない状況となっており、個別の接種場所を探すか、遠方のワクチン集団接種場所を予約しなければならぬ状況で、団地住民は「ワクチン難民」の様相を呈しています。

あさひが丘連合自治会では、広島市に対し、安佐地区の新型コロナウイルス

ス・ワクチン集団接種の拠点会場として、あさひが丘団地内に集団接種場所(コープビル3階大ホール)を指定し設置いただくよう要望書を提出しています。

本広報誌の原稿締め切り間際に、広島市の迅速な対応と、接種場所を提供してくださった広島市農業協同組合

## 広島市への改善要望

## 団地内と周辺の6項目

あさひが丘連合自治会副会長 濱中健次

あさひが丘団地が造成されて45年が経過しました。その間、様々な生活環境の変化や少子高齢化問題が進み、その対応が急がれるところです。

あさひが丘連合自治会では、令和3年度も団地内と周辺の問題点をまとめ5月18日、広島市に要望書を提出しました。その内容を簡単にお知らせいたします。

要望1：新安佐市民病院への直通バス道路の拡張

要望2：野平口バス停付近の凍結防止対策工事

要望3：団地内の道路舗装の改修

① 18区の砂防堰堤工事車両通行ルート付近

② 12区ミヤリ川沿いの道路

等関係者の皆様のご尽力のお陰で、コープビル3階大ホールが集団接種場所に決定されましたことに対して感謝し、厚くお礼申し上げます。

この1年間、気を緩めず難局を乗り越え皆様方と一緒に頑張つていきたいと思ひます。ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

要望4：近隣公園及び団地内の公園に健康器具を設置

要望5：高齢者の運転免許証自主返納者支援

① 高齢者の運転事故防止対策として運転免許証の自主返納が呼び掛けられている。

② 団地内の高齢化率は45%。

③ 郊外の団地では、他の移動手段がないと自家用車を手放せない。

このような状況に鑑み、昨年に引き続き要望しました。

要望6：新型コロナウイルスのワクチン接種会場をあさひが丘へ

団地内の医療機関ではワクチンの個別接種が受けられません。安佐北区内の集団接種会場は遠く移動が困難と予想されます。

1日も早いワクチン接種完了のためにも、コープビル3階大ホールの活用を提案しています。

## 特別企画

## 10年後のあさひが丘団地

特別企画として「10年後のあさひが丘団地」を取り上げました。団地住民の皆さんは、私達が住む団地の10年後の姿を想像したことがありますか。今号では、尾田連合自治会長と佐々木まち起こし推進部長に、10年後の様子を語っていただきました。

新型コロナウイルスの非常事態宣言下という事情から、会議室に会しての話合いではなく、紙上での協議(発言内容を原稿に書いていただき、進行役の小笠原広報部長が取りまとめる)形式で行ったことを申し添えます。

(進行) 今回のテーマは「10年後のあさひが丘団地」です。長期的な視野で団地が抱える問題点と取り組むことで、団地の未来を明るくものにできるのではないのでしょうか。

尾田会長は「10年後の団地」がどうなっていると思われますか？

## 団地ジュニアが子育て世代に

(尾田) 団地の世代が75歳以上の後期高齢者となる2025年問題が迫っていますが、10年後となりますと団地の世代全員が80歳以上、団地ジュニアの世代が60歳となり、雇用・医療・福祉など様々な分野に影響を与える超高齢社会が待っています。

そのとき、あさひが丘団地がどうなっているかということですが、団地ジュニア世代の子どもが家庭を持

ち、子育て世代に入っていると思われま

あさひが丘団地を離れていたこれらの若い世代の人たちが、あさひが丘に帰って来なくなるような魅力ある環境づくりが必要と思われま

現在推進している「空き家問題」

も徐々に浸透しています。これからも団地内で空き地となった更地への新築、空き家となった家屋の改修などを進め、子育て世代の若い人たちが住み、4世代の人達が暮らす、そのような団地になってほしいというのが私の願いです。

(進行) 佐々木部長、いかがですか？

## 若者が帰って来られる団地に

(佐々木) 昨年度に、安佐北区役所との共催で「まち起こしプランME

eting」を開催し団地の未来について考えていただきました。その中で出た参加者の理想の団地を集約すると「終生住み続けられる団地」「外部の人が住みたくなるような団地」「近くに若者が勤めることができる団地」「若い人が入居する魅力をもった団地」「いつまでも若々しく生きられる団地」「きちんと掃除・キレイにしている団地」「若い人が帰って来られるような団地」ということでした。10年後このような団地に少しでも近づいているかと思

(進行) 10年後はコロナも終息し、ようやく元の生活に戻れたと安心していてもかもしれません。ですがこの10年の間に、猛威を振るったコロナ禍に勝るとも劣らない問題が、ジワリジワリと進むことを忘れてはならないということですね。

私たちあさひが丘団地住民はそのとき、どんな課題と直面するのか、具体的に挙げていただけますか？

## 健康な環境づくり

(尾田) まず第一は、少子高齢化と人口減少への対応です。

高齢者が安心して暮らせる環境づくりと、子育て世代の若者が住みつける環境づくりが肝要です。

第二は、コロナ禍と高齢化で低下したコミュニティ(絆)の推進が挙げられます。

自助・共助・公助を念頭に置いた地域住民行事への参加です。

第三として、10年後を見据えた生活様式への対応ですね。

平均寿命が男女とも2〜3年延びることが予想されますが、健康寿命延長など心身とも健康な環境づくりが大切になってきますね。

そして第四が、自然災害への対応や防犯の強化です。

団地アンケート等から見たあさひが丘団地住民の不安材料を前号で列記しましたが、①車を運転出来なくなった時の移動、②バス路線の縮小、③スーパーなどの商業施設の撤退、④自身と家族の健康、⑤病院の撤退、⑤空き家、空き地の増加、⑥少子高齢化の進展、などが取り上げられていました。

これらのうち数多くの問題が現実のものとなっていると思われま

団地の世代が80歳以上になる10年後には1人暮らし、2人暮らしの世帯が急増することから、高齢者の見守りも今以上に展開することが求められます。

高齢者自身も日頃から健康寿命を延ばすための生活様式などを考えていきましょ

(進行) 今やっておかなければならないことは、どんなことでしょうか？

### 若い世代の意見を反映

(尾田) これらの問題は、すべて高齢者対策からの問題点ですが、これらを解決するだけで魅力ある団地となるといえるでしょうか。

子育て世代の人たちが、高齢者が多い団地に溶け込みやすくする工夫も必要です。

今まで自治会の行事、行政への要望等は、自治会役員(高齢者が多い)の意見を参考に進めていました。これからは、子育て世代の若い人たちが魅力ある団地にするための意見交換会を定期的に開催し、若者の意見を述べる会を設けることが大事だと思われま。

(佐々木) 私は魅力ある団地づくりには自治会の役割が大きいと思います。会員の皆さんが進んで参加できる、あらゆる世代にとって魅力のある自治会にしていく必要性を感じています。

そのために「みんなが参加できる魅力ある自治会づくり」を進めていく必要があります。

(進行) そのために、どういうことをすればよいのでしょうか？

### 人財育成が肝要

(佐々木) 高齢者が住みやすい団地にするためには、道路、公共施設などのバリアフリー化、高齢者も子どもも楽しく利用できる公園の整備、魅力ある団地づくりのための人財育成など今からできることを一つ一つ進めて行くことが大切だと思います。

(進行) 前号で「人口・高齢化率推移表」を掲載しました。これに10年後の予測値を加えると、どのようになりましようか。

### 10年後の高齢化率は45・6%

(尾田) 10年後のあさひが丘団地の人口は、約5050人、65歳以上の高齢者は2300人。65歳以上の高齢化率は45・6%が予想されます。ま



た小学校の生徒数は、約120人で、1クラス20人前後が予想されます。

(進行) 予測値を推定していただきました。そのとき「あさひが丘団地」はどんな状況に置かれているのでしょうか？

(尾田) やはり、子育て世代の若者に魅力を感じる団地。若者、高齢者が融合出来る団地が求められます。

(進行) 10年後にあさひが丘団地が

## 令和2年広島市美化功労者表彰 活動経験15年の大ベテラン

あさひが丘連合自治会副会長 濱中健次

です。

これから明るく、楽しく、お元気で！

あさひが丘4丁目在住の井口幸子さんが3月23日、安佐北区長から広島市美化功労者表彰を受けました。井口さんと地域清掃活動との出会いは、退職を機に愛犬と朝の散歩を楽しんでいたとき、目に付いたゴミを回収したことから始まったそうです。以来、活動経験15年の大ベテランのボランティアさんです。今では自宅近くや公園の環境整備にも手を伸ばされているそうで、自主的に生活環境の向上に貢献したことが評価されての受賞となりました。「表彰式の記事が中国新聞に掲載され、懐かしい友達から連絡があつて話が弾んだことが嬉しかった」そう



國重俊彦安佐北区長(右)から  
美化功労者表彰を受ける井口幸子さん

直面するであろう課題がだいぶ見え  
て来ましたね。

これを参考に、次号(令和4年1月発行)の座談会では、ほかの皆さんにも加わっていた意見を伺いながら、あさひが丘団地の未来を明るいものにできればと思います。そのときもまた、よろしく願います。今日はありがとうございました。